

2021（令和3）年度

## 事業報告書

\*6月4日理事会にて承認

令和3年4月1日から  
令和4年3月31日まで

公益財団法人 諏訪郷友会

# 目 次

2021（令和3）年度 事業報告書

総括	-----	2
<b>I 学生寮長善館の運営</b>	<b>（公益目的事業1）</b>	<b>-----2</b>
1. 館生40名体制の確保		
2. 長善館創立130周年記念祭の見直し・改善		
3. コロナ禍での生活健康づくり		
4. 管理・賄人の労務問題の解決		
<b>II 学生の研修交流会議の開催</b>	<b>（公益目的事業2）</b>	<b>-----3</b>
1. 夏季大会・長善館同窓会の開催		
2. 秋季大会・長善館130周年記念祭の開催		
3. 長善館オープンセミナーの開催		
<b>III 会報等の発行</b>	<b>（公益目的事業3）</b>	<b>-----3</b>
1. ニュース2021夏号の発行		
2. 諏訪郷友会 復刊40号の発行		
<b>IV 長善館駐車場の運営</b>	<b>（収益事業1）</b>	<b>-----4</b>
1. 高利用率の維持		
2. 駐車場周りの整備		
<b>V 太陽光発電の売電</b>	<b>（収益事業2）</b>	<b>-----4</b>
1. 発電施設のメンテナンス実施		
<b>VI 寄付金の増額</b>	<b>（当法人の目的達成のための活動）</b>	<b>-----4</b>
1. 組織的な要請活動の強化		
<b>VII 法人管理</b>	-----	<b>5</b>
1. 公益財団法人の法的規定と定款の理解		
2. 役員の職務分担の見直し		
3. 役員人事の見直し		
4. 監事・平理事からの監視・監督の強化		
5. 事務局後継者の検討		

## 【総括】

2021（令和3）年度は、コロナ禍継続の影響で、昨年度に引き続き主なイベントを中止あるいは縮小しました。

事業報告決済の監査会、理事会、評議員会も昨年度に引き続きみなし決議（議決権行使者全員による投票方式）で行い、毎月の常務会も年度前半は zoom 会議中心で実施しました。全体的には、会報等の発行以外は積極的な活動はほとんどできない1年でした。

新入館生歓迎会を縮小して実施しましたが、予想以上に盛り上がり18名にコロナ感染が広がってしまいました。関係各所、各位の協力で重症者はなく全員完治しました。

人事面では重要問題が発生しています。常務理事2名が辞任し、理事長兼館長と副理事長が体調不良のため業務継続が困難になり、高齢化などによる職務執行への影響が重大になっています。

一人になってしまった管理・賄人の労務問題も2年間以上全く対策・解決がされないままとなっています。

運営の収支面では2021（令和3）年の収支は+64万円となり5年ぶりにプラスとなりました。これは、諏訪信用金庫への借入金返済額を大幅に減額していただいたのが主因です。コロナ禍のイベント中止による各種経費削減もその要因ですが、一方建物・設備の保守費用および食材費が増大してきています。

それでは以下に事業報告の詳細を報告いたします。

### I 学生寮長善館の運営（公益目的事業1）

#### 1. 館生40名体制の確保

- ① 年度スタート時点での不足分は、追加3回の入館者面接を実施し途中入館生を確保できました。令和4年度分入館生は予想を上回る応募があり、選考苦慮の結果満室の41名在館となりました。

#### 2. 長善館創立130周年記念祭の見直し・改善

- ① コロナ禍継続のため記念祭は中止とし、境内の諏訪神社参拝のみを行いました。

- ② 翌年度以降の長持ち・花笠踊りなどの練習方法、上級生の指導方法の修正を館生と相談・検討を開始しました。R4年度から新方法で実施する予定です。

### 3. コロナ禍での生活健康づくり

- ① 館生に複数名感染者が出ましたが、行政当局、館生員、理事、事務局、管理人間の連携で完治しました。地元商店街から多くの緊急物資を提供いただき、日頃の地元連携を実感しました。  
館の新型コロナウイルス対策マニュアルは、感染時対応の更なる充実が求められます。
- ② 外出自粛時の外食を控えるため、日・祝・夏休み期間の宅配弁当補助などの供食を実施しました。

### 4. 管理・賄人の労務問題の解決

- ① 適正な雇用契約がない中で、諸問題を話し合う機会を作ることなく、昨年度に引き続き今年度も無為な1年間でした。
- ② そのため労使間の相互不信が強く、一刻も早い解決のための諸施策を講じなければならない状況です。
- ③ 食事面での質の低下も見受けられ、入館時に美味しい食事を期待する保護者と館生に栄養、カロリー面で影響が出ないような配慮が求められます。

## II 学生の研修交流会議の開催（公益目的事業2）

### 1. 全ての行事の中止

- ① コロナ禍のため、夏季大会・長善館同窓会、秋季大会・長善館創立130周年記念祭、長善館オープンセミナー（計2回）の開催はすべて中止としました。  
これらの中止により会の運営に支障を来しており、たとえコロナ禍継続であっても可能な方法での開催を模索していきたいです。

## III 会報等の発行（公益目的事業3）

### 1. ニュース 2021 夏号の発行

- ① 維持会員と郷友会を結ぶ絆として、A4版への拡大、充実・親しみやすい内容など紙面刷新への改革がスタートできました。

今後、この業務を印刷会社工場に近い諏訪事務局へ担当移管することも検討していきます。

## 2. 諏訪郷友会報 復刊 40 号の発行

- ① 卒館生武井武雄氏の「青の魔法」を表紙にあしらった、斬新なデザインの記念会報は、地元新聞記事に掲載され、長善館 OB や保護者からの反響が大きく 20 名以上からの郵送依頼がありました。
- ② 発行時に法人会員の見直し・名簿のアップデートを兼ねて法人会員訪問を計画していたが実現できなかった。次年度に繰り越し実施していきます。

## IV 長善館駐車場の運営（収益事業 1）

### 1. 高利用率の維持

- ① 年度初め 31 台が年度末 27 台と解約が進み、空きは 8 台分となった。翌年度初に新規契約 2 台が成約済で、空き 6 台分となります。
- ② 収益は 682 万円（計画 680 万円）と 100%の実績でした。

### 2. 駐車場周りの整備

- ① 調布市シルバー人材センターの活用と館生の協力により整備が維持できました。

## V 太陽光発電の売電（収益事業 2）

### 1. 発電施設のメンテナンス実施

- ① 中長期メンテナンス計画に従い、交換必要部品を来年度以降に交換することになりました。
- ② 売電は 97 万円（計画 100 万円）と順調な収益がありました。

## VI 寄付金の増額（当法人の目的達成のための活動）

### 1. 組織的な要請活動の強化

- ① コロナ禍で活動が消極化し、計画した組織的な特別活動はしませんでした。具体的には、法人会員名簿整理のための法人訪問、同窓会の地区別・年代別幹事の選定などができませんでした。どう協力金増収活動を行うかは次年度以降のテーマとなります。

② 活動不足で、実績は 272 万円（計画 350 万円）と 78%に留まりました。

## **Ⅶ 法人管理**

### **1. 公益財団法人の法的規定と定款の理解**

① 理事の関係法規、定款、および当会諸規定の理解は進んできていますが、更なる努力が必要と思われます。

### **2. 役員の職務分担の見直し**

① 期中に常務理事 2 人が辞任し、期末 3 月には理事長と副理事長が体調不良で業務継続が困難という異常事態となりましたが、職務分担の見直しは不十分のままでした。

### **3. 役員人事の見直し**

① 来年度改選の評議員、理事、監事ともほぼ人選候補の見通しがたちました。理事の若返りはできませんでしたが、自覚と責任感のある人選の補充ができる見通しです。

### **4. 幹事・平理事からの監視・監督の強化**

① 令和 2 年 11 月から毎月運営状況を報告していますが、監視・監督は全く機能していません。ガバナンス強化のため再検討が必要です。

### **5. 事務局後継者の検討**

① 事務局長から期末での退職意思が正式に出されていましたが、後継者探しは全くなされませんでした。事務局長には 1 年間の勤務延長をお願いし受諾してもらいました。しかし後継者は喫緊の重要課題であり、また事務局業務のバックアップと事務局長への業務集中を軽減するために事務補助者採用を検討中です。（→5 月採用済）

以上